

---

# 子ども部屋 ~CHANGE THE WORLD~

宍井智晶

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

子ども部屋〜CHANGE THE WORLD〜

### 【Nコード】

N1357J

### 【作者名】

穴井智晶

### 【あらすじ】

お互い大切でも一緒にはいられない二人。「ピーター・パン」の二次創作、BL風味注意！

フック船長が、ピーターに贈るつもりで、はりきって用意していたプレゼントは、子どもたちにあっさり盗まれる。

ピーターは、フックのプレゼントなんかいらねーと思いつつも、気になってしまい。プレゼントを探し出し、こっそり返すため、深

夜、フック船長の部屋へ行くことにする。

ところが、船長は目を覚まして・・・？

## 子ども部屋

Change the world

おたがいがおたがいを必要としているのはわかってる。だけど、一緒にはいられない。

いちばん大切なものをささげても、この距離は変えられない。だからもう、好きにするしかないけど、その足がかりになるのもやっぱり、あの人からもらう愛だったりして。

海と陸のあいだに国をつくった海賊のフック船長は、人にもまれ、はいつくばり、跳び、血を流しながら、国をひろげてきた。波のように、みちては津波になって陸を襲い、ひいては大潮になって海を進撃。

けれど、鰐に襲われて以来、ゆれて渦まく心を操縦しきれずに、今は孤島に身を寄せて、くじけていた。いつぼう、いつからか孤島にすみついた妖精のおれは、その光で船を惑わせてきた。寄港する船はやがて去り、帰る家のない子どもが残った。いつも星のように遠くから誘い、ながめ、楽しみ、なりゆきまかせ。

けれど、夜空をみあげる者がいなければ、星は誰にもきづかれな。だからここで永遠に輝くと決めていた。どこからでもみつけられる星になると。

黒光りする崖のふちと、赤い星のまきちらされた夜空。ひとり崖

に腰かけ、星を食べる。ぱちぱちぱち口のなかで火花がちった。ふっと吹きだすと、暗い波がうねる底へ、火の粉がふりそそいだ。さいごに花をなげ、死んだ子どもたちの葬送を終える。

崖で鬼ごっこをするのがドンガラ鬼。どんどん走ってがらがら落ちるから。ななめに駆け、すべり、ちぎれながら落ちていった子どもたちの影と笑い声が、底からわきたち、すぐにきえる。

子どもたちは生きるのも死ぬのもじぶんで決めた。フック船長、あんたもそうすればいいのに。

フック船長に会ったのはいちどだけだ。海賊船がはじめに島に着岸したとき、あいさつがわりにほんの少し言葉をかわした。頭のよい、背の高い、きれいな肌と茶色の瞳をした男だと思ったことをおぼえている。何を話したのかは忘れた。おれは、ほとんど大人に興味がない。だって、どうせ奴らは帰るべき場所に帰るのだから。

そのフック船長が、怪物に左手を喰われ、船が焼けこげて以来、おれに会いたがっていることを子どもたちからきいて知っていた。おれを探して探して、贈りものをよういして待っているらしかった。じぶんのいちばん欲しいもの、大切なものを、おしつけてくる気ですつとずつと。

いま、その贈りものとやらは、おれの手のなかにある。

今朝、盗人ごっこをしていた子どもたちが、海賊船からもちだしたのだ。おれの子どもたち、服も髪もナイフの使いかたもめちゃくちゃなおれの子どもたちは、せいとんされたフック船長の部屋にしのびこみ、かんたんにバレるいたずらを繰り返している。

崩れかけた船の、扉の壊れた船長室にはいるのは、鬼ごっこよりかんなららしい。

今日も、子どもたちは

「こんなもの？そんな力が？」

と、ひとしきり大笑いをしたあと、贈りものをおきざりにしていた。

おれは、手のなかにあるその、贈りものを海に還そうとして、やめた。

桜色の宝石のような輝き、それがもつたいなくなったわけではなくて。

ほんとうは、おれも待っていたのだ。

フック船長が、もっと追いつめられ、傷つき、孤独になり、泣き、おれの名を呼ぶのを。

そして、その贈りものを、大切そうに渡そうとしてきたら、ことわってやる、

あっけなく、

一言で、

だから早く、

贈ってくればいいのに、と。

その、誰の手に渡っても、ほこり高いお姫さまみたいに水の中で震えている、贈り物を。

星をもうひとつ食べながら、夜の海に水平線を見つけようとして目をこらす。

おれは、たちあがった。おれなりの筋道をとおすために。

おれの影、子どもの細い足と首をした影が、いっしょに走りだす。船長室にいくことにした。

薄明かりのもれる重い扉。

ぐうつと力をこめてあけたら、ぼろぼろと角がこぼれて、傾いた。焼けた海賊船は、こげたパンか、ひからびたお菓子みたいにも

ろくなっている。部屋のすみには、ベッドがひとつ。

その横のちいさな蝋燭だけが静かで、まわりの家具や本、手紙やオルゴールは、乱闘のあとのように、まぜかえされ、ひっくりかえされている。探しものをしたあとだった。

ベッドの横にたつて寝顔をのぞきこんだ。

つかれて倒れこむようにベッドに体をあずけるフック船長。

フック船長は、眠りながら泣いていた。

うつすらにじんだ涙が、まつげを、なめらかな頬を、濡らしていた。

上品な服がしわくちゃで。

おれは、ずるいなあ、と思う。おとななのに、子ども部屋みたいなところでこんなふうに眠るなんて。

フック船長の長い髪をかきわけて、枕のよこに、ちいさな贈りものを沈めた。

かえす、ね。

ふいに、フック船長がささやき、

「ずっとここにいて」

おれは息をとめる。

まぶたが開いた。

焦点のあわないぬれた茶色の瞳がこちらをむいた。

フック船長の左腕、利き腕だったはずの方が、おれの体をかすめる。

なにもついていない腕の先は、つかむべきものをつかめず、フック船長はよるめた。

おどろいているおれを、こんどはぐいと、はんたいの手が引き寄せる。

おれは、その手をひきはがして、壁ぎわに逃げた。

追ってきたかとふりかえったが、フック船長はベッドのなか、うつぶせになって肩をふるわせている。

そのままくずれて、枕にかおをうずめた。

そして、また眠りにおちていく。おれはゆっくりと息をはきだす。

フック船長がどんな夢をみているのかわかる気がした。

「でも大丈夫、またあえるよ」

出会いなおせる。まだ、時間はある。

その限られた時間のなかで、おれのために一回多く泣くことになっただけ。

おれたちは、ふたりとも、世界の限界とじぶんの限界が重なっているタイプだから。

いくら星と波がよりそってみえても、実在ははてしなく遠く、変えられない。

だけど、フック船長、あなたの苦しそうな顔をみるたび、おれは、あなたがずっとここにいることになるんじゃないか、そうになったらいいのに、と黙ってしまおうよ。

もしもおれが左手を食べた怪物だったら、もっとあなたをめちゃくちゃにしていたらどう。

夜があけても、もう誰もどこにもいけないように、世界のルールを壊したかった。

今夜、波は、星をうつしてうねっていた。

夜のあいだだけべったり、おたがいがおたがいにはりついていて

空と海の境界線も、夜のあいだだけ、黒くぬりつぶされとけあっていた。

扉をあけ、子ども部屋をでたら、ほっとして力がぬけた。

しんせんな空気をすいこんで思うこと。「いがいとたいへんじゃんか」。今夜から、おれピーター・パンは、サンタ・クロースをちよっとだけ尊敬することにする。

そして、恋を叶えるお守りだという贈りものの、効き目はたしかにあったようだった。小ビンのなかの、海のしずくと、桜の花びらみたいな、小さなめずらしい魚、ありがとう。小ビンを手のひらにおさめているあいだ、まるで、海をこの手で握っているような、そんな気がしていた。

空を仰いで星を食べたら、口のなかで火花がちった。

火の粉をふつと吹きだすと、暗い波がうねる船の下へ、光の尾がすいこまれていった。

「でも大丈夫、またあえるよ」

もういちどだけ、言ってみたら、ぱちぱちぱちぱち拍手の音がひびいた。

(後書き)

追記：小ビンの中の小魚が、世界のルールを変えるまで、あともう少し。(本編「HANDLE my love」の更新をお待ちください) <http://dropstory.blogspot.fc2.com/>

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1357j/>

---

子ども部屋～CHANGE THE WORLD～

2010年11月14日10時47分発行